

◆ 今週のコメント

- ・ 麻しんの小児科定点からの報告は先週の2例に続き、今週は4例(6ヶ月～11ヶ月, 1歳, 5歳, 10歳～14歳)あります。本年の第1週から第36週までの小児科定点からの累積報告数は11例で、年齢階級別にみると、10歳～14歳が4例と最も多く、6ヶ月～11ヶ月に2例, 1歳に2例, 3歳, 5歳, 6歳に各1例となっています。全国でも、10～14歳の構成割合(29.3%)は、過去7年間(5～15%)と比べて高く、0～4歳の割合(39.0%)は、過去7年間(55～67%)より低くなっています。また、本年春季に麻しん流行の中心であった南関東地域からの報告数は減少したものの、全国では、第33週以降過去5年平均値を上回る状態が続いていますので、今後ご注意ください。
- ・ 感染性胃腸炎の定点あたり報告数は2.78で、第19週のピーク以降減少しているものの、過去5年平均値を上回る状態が続いています。
- ・ 重篤な症状をもつ疾患である無菌性髄膜炎、脳脊髄炎の患者の髄液等より、エコーウイルス30型 2例(4歳, 12歳)、コクサッキーウイルスB5型 1例(0歳)が検出されています。特にエコーウイルス30型については、平成15年に本市、全国ともに流行しており、夏から秋に多い傾向がありますので、本年についても警戒が必要です。

◆ 今週のトピックス: <腸管出血性大腸菌感染症>

- ・ 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(O157 VT1VT2)で、本年の累積報告数は30例となっています。全国では、6月以降、徐々に増加しており、今週も高い値で推移しています。詳細は、トピックスに掲載しています。

◆ 麻しんの発生件数の把握について

- ・ 平成19年5月25日から始まった、京都市独自の調査による、市内全医療機関を対象とした麻しん(成人麻しんを含む。)の報告数については、別紙「京都市麻しん全数発生報告」に掲載しています。

◆ 発生状況

全数報告の感染症

- ・ 二類: 結核(肺結核) 8例(第31・35週追加分を含む)
- ・ 三類: 腸管出血性大腸菌感染症(O157 VT1VT2) 1例
- ・ 五類: 後天性免疫不全症候群(無症候期) 1例

定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2.78	114
	② ヘルパンギーナ	0.56	23
	③ 水痘	0.32	13
	③ 突発性発しん	0.32	13
	⑤ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.27	11
眼科	流行性角結膜炎	0.30	3

病原体情報

(検体名は紙面の都合上、咽頭ぬぐい液をNP, 糞便をFC, 髄液をSF, 尿をURと略す。)

検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検体名	検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検体名
コクサッキーウイルスB2型(1)	かぜ症候群(第34週)	NP	RSウイルス(2)	かぜ症候群(第33週)	NP
エコーウイルス30型(1)	感染性胃腸炎(第34週)	FC	コクサッキーウイルスB5型(1)	脳脊髄炎(第35週)	FC, NP, SF
エコーウイルス30型(2)	無菌性髄膜炎(第35週)	FC, SF FC, SF, NP			

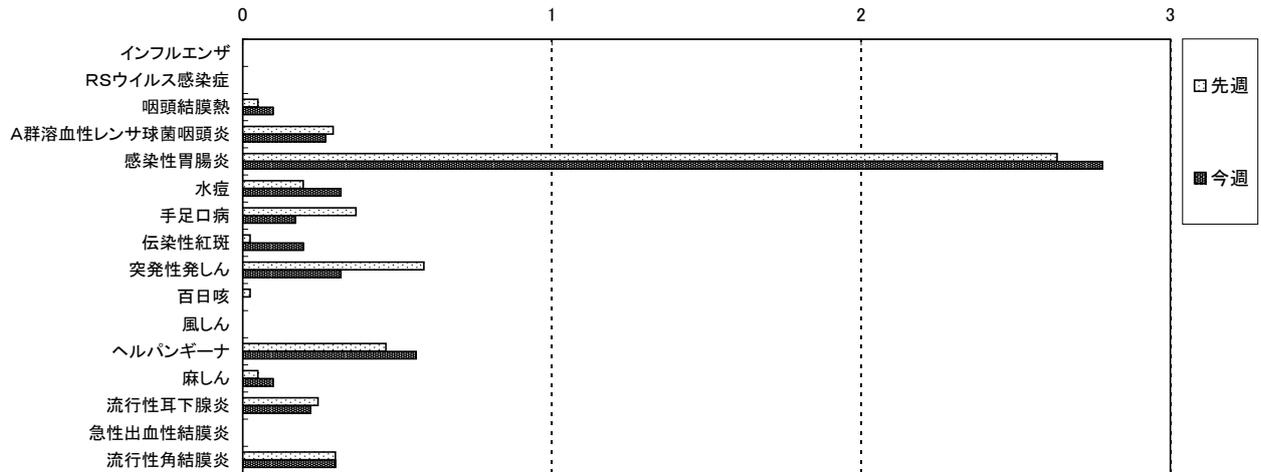
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <腸管出血性大腸菌感染症> / 京都市麻しん全数発生報告付表(疾病, 保健所別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

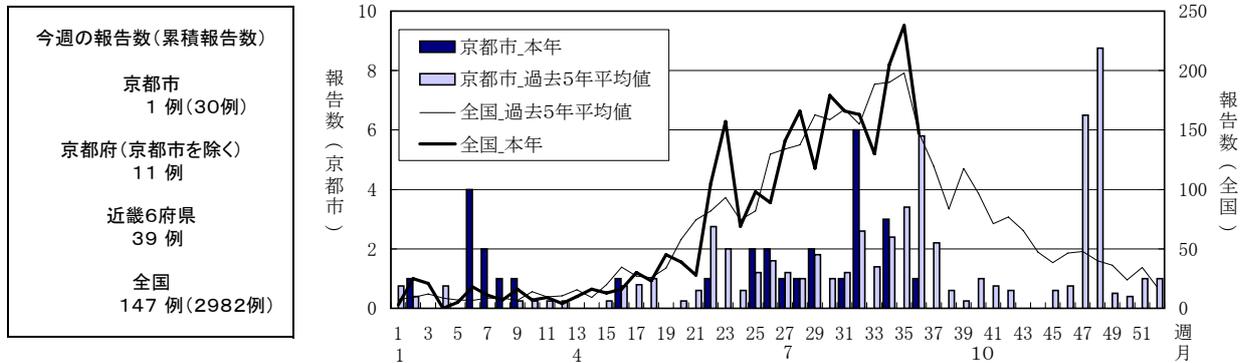
(注) 京都市のデータは、平成19年9月14日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。また、本情報での患者数は、届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。病原体情報は、病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第36週)と先週(第35週)の定点当たり報告数の比較

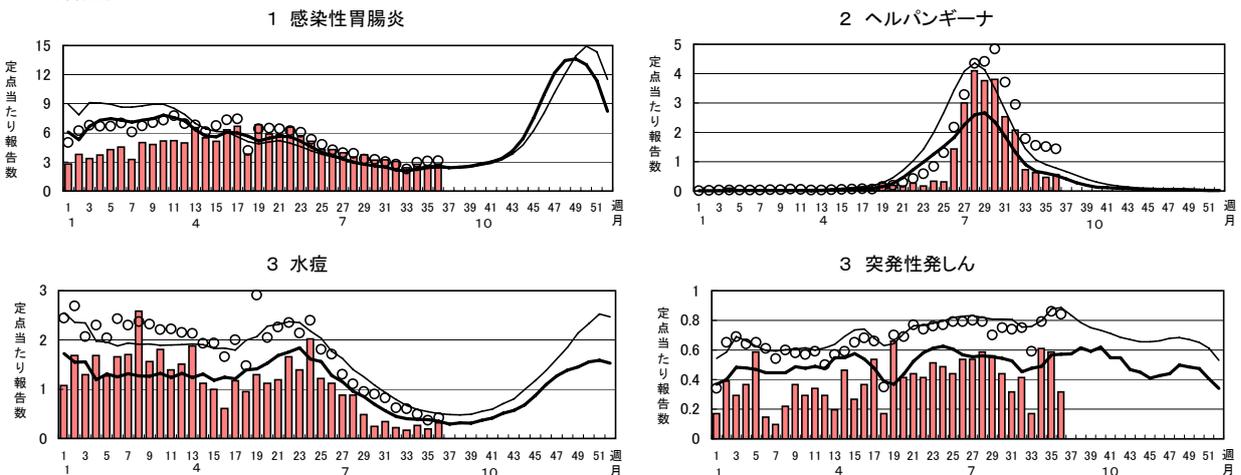


2 腸管出血性大腸菌感染症(三類感染症)の推移

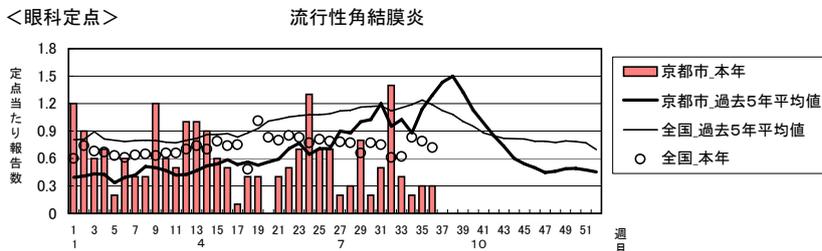


3 主な感染症(小児科)の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



今週(第36週)のトピックス: <腸管出血性大腸菌感染症>

今週の報告は、1例(O157 VT1VT2)です。本年の累積報告数は30例で、第32週の6例が最も多くなっています。全国では、6月以降、徐々に増加しており、今週も高い値で推移しています。

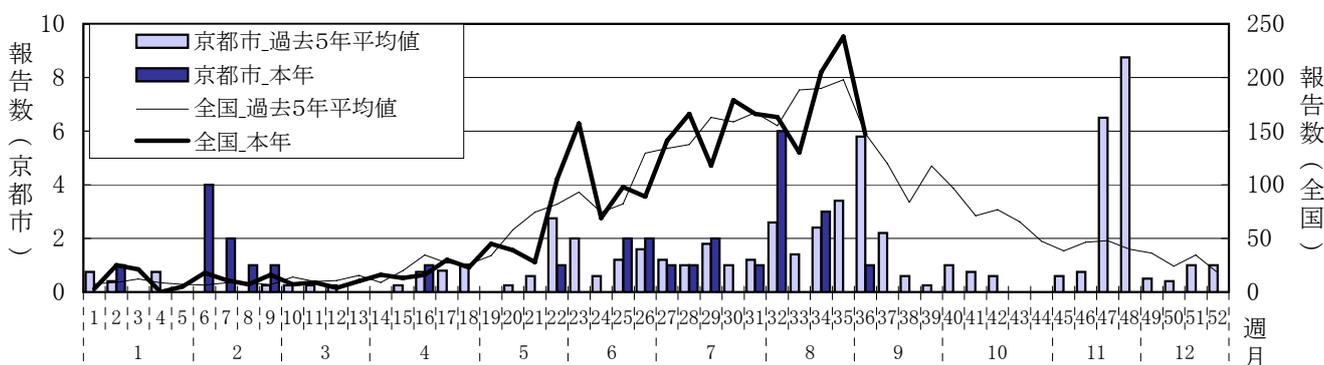
年別に平成12年以降の同時期までの累積報告数を比較すると、本年は平成14年と同値で、8年間のうち4番目の中程度の値となっています。

年齢群別に本年の累積報告数をみると、本市では、0～9歳、10歳代、40歳代の順に多くなっており、全国では、0～9歳、20歳代、10歳代の順に多くなっています。

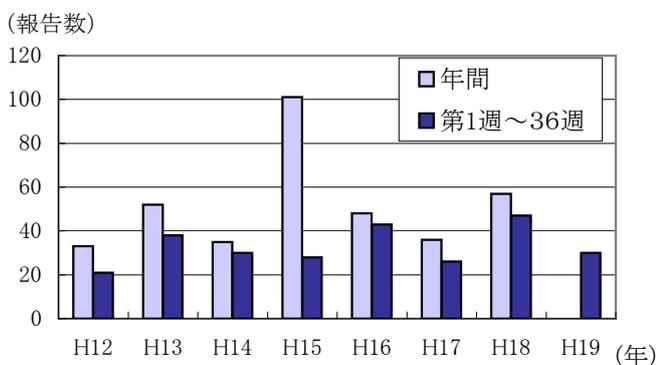
都道府県別に第1週から36週までの累積報告数をみると、東京都、大阪府、福岡県で多く、都市部に多い傾向となっています。

本疾患は三類感染症ですので、診断を行った医師は、直ちに最寄りの保健所へ届出をしてください。

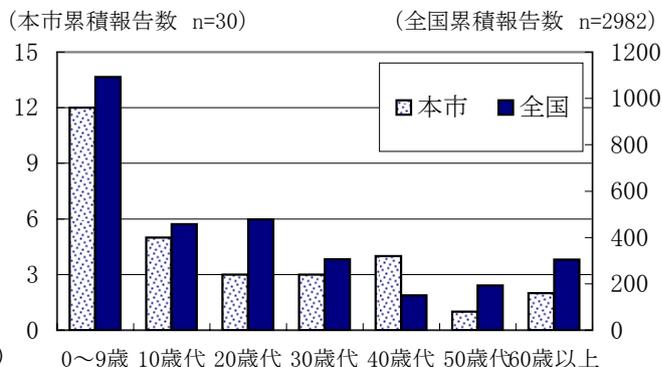
本年の週別月別発生状況の推移



年別累積報告数

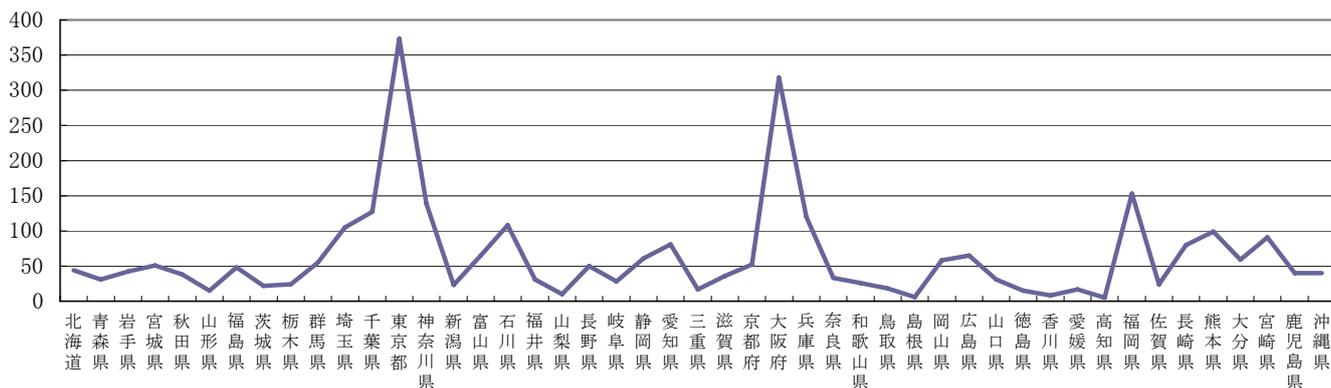


本年の年齢群別累積報告数(第1～36週)



本年の都道府県別累積報告数(第1～36週, n=2,982)

(第1～36週の累積報告数)



京都市麻しん全数発生報告

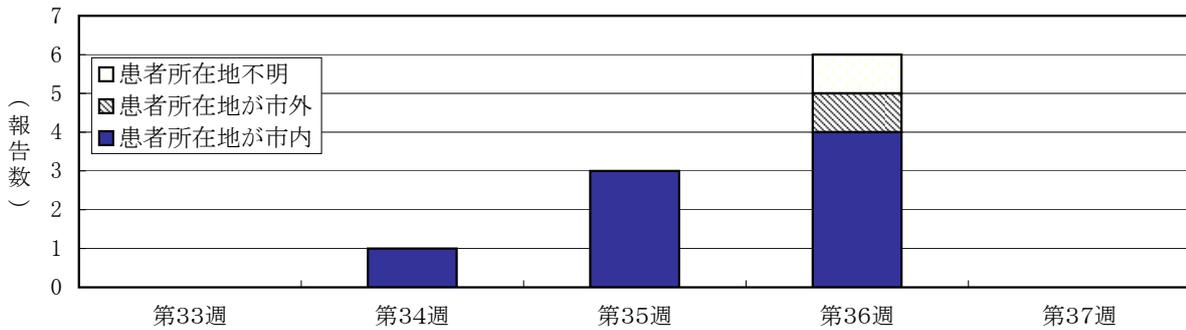
京都市独自の調査による、市内全医療機関を対象とした麻しん(成人麻しんを含む。)の報告数を掲載しています。5月25日から9月16日までの報告を初診週別に集計しています。

1 推移

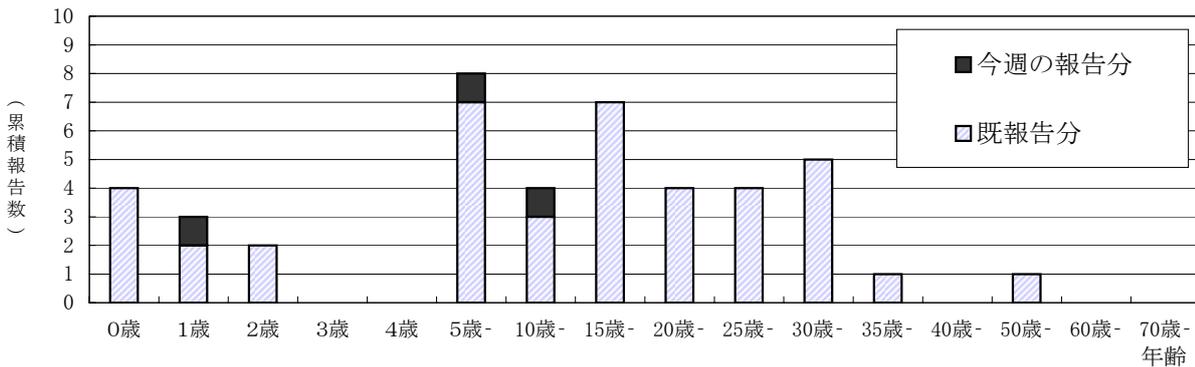
	初診週	第33週	第34週	第35週	第36週	第37週	累積報告数 (第17週以降)
今週の報告分		-	-	-	3	-	3
既報告分		-	1	3	3	-	40
合計		-	1	3	6	-	43

2 患者所在地別推移

初診週別報告数の推移 (最新5週分)



3 年齢階級別



<参考> 感染症発生動向調査による定点医療機関からの報告数の推移

市内定点数:麻しん(小児科定点)41,成人麻しん(基幹定点)1

麻しん全数発生報告事業開始以前のデータについて、報告週別に集計したものを下記に掲載します。

・麻しん(15歳未満) 3例

・成人麻しん 0例

	第17週	第18週	第20週
報告数	1例	1例	1例
年齢階級	6ヶ月～11ヶ月	3歳	10～14歳

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第36週

疾病,保健所別報告数

平成19年9月3日～平成19年9月9日

データ入手日:平成19年9月14日

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん
男女合計	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	1	-	2	-	-	2	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	-	7	4	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	8	4	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	18	-	1	-	-	-	-	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	2	10	1	1	-	1	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	-	8	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	-	-	8	2	-	3	1	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-
伏見	-	-	-	4	29	1	3	-	1	-	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	3	3	20	1	2	3	4	-	-	3	-	5	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	4	11	114	13	7	8	13	-	-	23	4	9	-	3	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

疾病,保健所別定点当たり報告数

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん
男女合計	-	-	-	-	0.75	-	-	-	0.50	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	0.75	-	-	-	0.50	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	0.33	-	0.67	-	-	0.67	0.67	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	-	1.75	1.00	-	-	0.25	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	2.67	1.33	-	-	-	-	-	0.67	-	0.33	-	0.50	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	9.00	-	0.50	-	-	-	-	1.00	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	0.50	2.50	0.25	0.25	-	0.25	-	-	1.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	1.00	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	-	2.67	-	-	-	0.33	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	-	-	1.60	0.40	-	0.60	0.20	-	-	0.20	-	0.20	-	2.00	-	-	-	-	-
伏見	-	-	-	0.57	4.14	0.14	0.43	-	0.14	-	-	0.86	-	0.29	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	0.75	0.75	5.00	0.25	0.50	0.75	1.00	-	-	0.75	-	1.25	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	0.10	0.27	2.78	0.32	0.17	0.20	0.32	-	-	0.56	0.10	0.22	-	0.30	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第36週

年齢階級, 疾病別報告数

平成19年9月3日～平成19年9月9日

データ入手日:平成19年9月14日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	4	-	-	2	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	11	-	-	1	-	4	-	1	1	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	114	3	12	17	14	11	7	11	2	6	6	2	9	1	13	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢1	13	-	2	2	5	-	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢1	7	-	1	3	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	8	-	3	1	-	1	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢3	13	-	7	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風しん	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	23	-	3	7	6	1	1	2	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
麻しん(※)	年齢3	4	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢3	9	-	-	-	-	1	3	-	-	1	1	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
細菌性髄膜炎(※)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	0.10	-	-	0.05	-	-	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	0.27	-	-	0.02	-	0.10	-	0.02	0.02	-	0.02	-	0.02	-	0.05	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	2.78	0.07	0.29	0.41	0.34	0.27	0.17	0.27	0.05	0.15	0.15	0.05	0.22	0.02	0.32	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢1	0.32	-	0.05	0.05	0.12	-	0.02	0.02	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢1	0.17	-	0.02	0.07	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	0.20	-	0.07	0.02	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢3	0.32	-	0.17	0.12	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風しん	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	0.56	-	0.07	0.17	0.15	0.02	0.02	0.05	-	0.02	-	-	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-
麻しん(※)	年齢3	0.10	-	0.02	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢3	0.22	-	-	-	-	0.02	0.07	-	-	0.02	0.02	-	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	0.30	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	0.20	-	-	-
細菌性髄膜炎(※)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第36週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成19年9月14日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	-	-	-	1	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	8	12	3	1	2	4
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	7	7	11	12	11
感染性胃腸炎	132	126	99	113	108	114
水痘	14	9	7	11	8	13
手足口病	21	17	9	6	15	7
伝染性紅斑	8	2	1	3	1	8
突発性発しん	13	17	7	25	24	13
百日咳	-	1	1	1	1	-
風しん	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	104	85	30	26	19	23
麻しん (※)	-	-	-	-	2	4
流行性耳下腺炎	12	4	10	8	10	9
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	14	4	2	3	3
細菌性髄膜炎 (※)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	-	-	-	-	-	-
合計	325	294	178	208	205	209

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	-	-	-	0.01	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	0.20	0.29	0.07	0.02	0.05	0.10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.20	0.17	0.17	0.27	0.29	0.27
感染性胃腸炎	3.22	3.07	2.41	2.76	2.63	2.78
水痘	0.34	0.22	0.17	0.27	0.20	0.32
手足口病	0.51	0.41	0.22	0.15	0.37	0.17
伝染性紅斑	0.20	0.05	0.02	0.07	0.02	0.20
突発性発しん	0.32	0.41	0.17	0.61	0.59	0.32
百日咳	-	0.02	0.02	0.02	0.02	-
風しん	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	2.54	2.07	0.73	0.63	0.46	0.56
麻しん (※)	-	-	-	-	0.05	0.10
流行性耳下腺炎	0.29	0.10	0.24	0.20	0.24	0.22
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.50	1.40	0.40	0.20	0.30	0.30
細菌性髄膜炎 (※)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	-	-	-	-	-	-
合計	8.30	8.23	4.64	5.21	5.23	5.32

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。